



おかげさまで12周年「創業祭を開催」

～トマトソースの試食・評価会も同時開催～

農 事組合法人た・から(大森敏彦理事長 組合員113人)は、5月19日(土)に中央市の四季新鮮広場た・から農産物直売所で、12周年の創業祭を開催し、近隣住民を含め多くの人でにぎわった。

「た・から」の由来は、「田や畑から」「田富から」の贈りもの、新鮮でおいしいものを買いたいお客様にとって、“たから”の山のようなスペースになることを願って名付けられた。消費者との交流が最重要と考え、5月に「春の創業祭」、11月に「秋の収穫祭」を開催しているほか、毎月

第4水曜日は、「た・からの日」として、旬の農産物をお得に提供している。また、地域の保育園児、小学校の児童やその保護者を対象にした農業体験や食育活動にも積極的に取り組んでおり、地域に密着した農産物直売所としての活動を続けてきた。

創業祭当日は好天に恵まれ午前9時にオープン、食べ物コーナーでの焼きそばやたから棒(きゅうりの1本漬け)の販売、お祭り広場では田富中学校の合唱部や吹奏部

の演奏の他、地域の方々によるオカリナ演奏や踊りなどが披露された。12時からは新鮮野菜祭りとして、トマト・きゅうりの袋詰め放題の販売が行われ、甲府市などから来たお客さんで行列ができるほどの大盛況であった。

現在、た・からでは中央会の6次産業化ポートセンターの専門家による支援を受け中央市のB級グルメとして売り出し「青春のトマト焼きそば」などのベースとなる「トマトソース」の開発を進めている。創業祭当日には、トマトそのもののソース、玉ねぎを加えて味を調えたソース、豚挽肉を加えてミートソース風にしたソースの3種類で組合員とイベント出演者による試食会を行った。投票の結果、トマトそのもののシンプルなソースが選ばれた。今後は、お客様の声を聞きながらトマトソースのブラッシュアップを行い、今年度中の商品化を行うこととしている。



袋詰め放題の様子



トマトソースの試食